

第 68 回中国四国産科婦人科学会評議員会議事録

理 事 会： 2015 年 9 月 6 日（日）

於：倉敷市芸文館 2 階 201 会議室

出 席 者：会 長 下屋浩一郎（岡山）

理 事 苛原 稔（徳島） 京 哲（島根） 杉野 法広（山口）
秦 利之（香川） 原田 省（鳥取） 平松 祐司（岡山）
前田 長正（高知）

（オブザーバー参加： 杉山 隆（愛媛））

監 事 江尻 孝平（岡山） 中村 隆文（岡山）

幹 事 村田 卓也（岡山） 鎌田 泰彦（岡山）

評議員 青木 昭和（島根） 伊藤 隆志（鳥取） 越智 博（愛媛）
岩部 富夫（鳥取） 上田 克憲（広島） 勝部 泰裕（広島）
金西 賢治（香川） 田中 宏和（香川） 内藤 博之（広島）
中塚 幹也（岡山） 藤野 俊夫（山口） 増山 寿（岡山）
三好 博史（広島） 水之江知哉（広島） 村上 朋弘（広島）
安井 敏之（徳島） 矢野 浩史（池谷 東彦先生の代理），

（欠席者： 工藤 美樹，那波 明宏，池上 信夫，乾 泰延，岩成 治，古本 博孝
澤田 康治，重政 和志，関 典子，中曾 庸博，縄田 修吾，沼 文隆
濱脇 弘暉，樋口 和彦，三谷 弘，山本 暖，横山 幹文）

会長挨拶：

下屋会長より，評議員会開催の挨拶があった。現時点で学会参加者数は 350 人との報告があった。また新しく愛媛大学の教授に就任された杉山先生のご紹介があった。

杉山教授より，本年 9 月に愛媛大学に着任したこと。中国四国地方とは，これまでに直接の縁はなかったが，自身の本籍地が岡山であるとのこと。今後とも宜しく願いいたしますと挨拶があった。

報告事項：

- 1) 下屋会長より指名を受け，鎌田幹事より平成 26 年度会員数および会費納入状況，平成 27 年度会費納入状況，会誌発行状況について報告があった。とくに質問等はなし。
- 2) 下屋会長より，今年度の学会賞（八木賞）は応募論文が 3 件であり，岩佐 武先生（徳島大

学)の「Hypothalamic Kiss1 and RFRP gene expressions are changed by a high dose of lipopolysaccharide in female rats. (Hormones and Behavior 誌に掲載)」が学術委員会での協議の結果、学会賞に決定し、理事会でも承認されたことが報告された。

- 3) 下屋会長より、平成28年度臨床公募研究への応募は、増山 寿先生(岡山大学)の「帝王切開痕部妊娠の管理に関する研究」の1件であり、学術委員会にて協議され、理事会でも承認されたことが報告された。非常にタイムリーで重要な課題であり、管理や治療指針についてもまとめていただきたいと説明があった。
- 4) その他の報告事項は、特になし。

協議事項：

1) 平成26年度決算

下屋会長より指名を受け、鎌田幹事より、平成26年度会計の報告があった。

次いで平松理事より、支出の部の「Plus One 産婦人科セミナー」の会計報告が追加された。日産婦の未来ビジョン委員会で、全国で開催されるこのような教育セミナー開催に際し800万円の予算をとって、中国四国地方には100万円の援助をした。しかしALSOは米国の本部にお金を払わないといけない分、本会予算の150万円から予算オーバーしていることは昨日の理事会でも説明の上、ご承認いただいた。本評議員会でもご承認いただきたいと説明があった。

続いて、江尻監事より監査報告があり、全会一致で承認された。

2) 平成27年度予算案

鎌田幹事より報告があった。すでに各財務委員からの承認を頂いている旨が伝えられた。

収入の部については、今年度の会費納入の義務のある会員数は1,239名で、会費納入率は例年99%以上であること、また若干名の過年度会費納入と併せて考え1,239人分で計算した。また機関誌収入、利息は昨年同様で策定した。

支出の部については、機関誌刊行費の発送費を25万円、ホームページの管理費を15万円に増減した以外は、例年通りに策定した。また「Plus One 産婦人科セミナー」についても、昨年同様に、150万円を開催資金に充当するよう計上した。

下屋会長より、今回の「Plus One 産婦人科セミナー」参加者は、腹腔鏡とALSOで計45名を予定していること。昨日の理事会でも、セミナーをいつ開催するかなどにつき協議されたが、結果がすぐには出ないのでしばらく続けてみることとなったと追加発言があった。

全会一致で承認された。

3) 次期および次々期開催の件

下屋会長から、平成 29 年の開催地は広島大学の工藤先生にお願いし、日程等は工藤先生にご一任いたします。なお工藤先生は昨晚より沖縄に行かれたので、挨拶は割愛させていただきますと伝えられた。

秦理事より、第 69 回の本会は平成 28 年 9 月 24 日（土）、25 日（日）にサンポート高松国際会議場（高松市）で開催する予定との報告があった。土曜日朝に指導医講習会と、「Plus One 産婦人科セミナー」を学生、初期研修医 1 年を対象に予定します。内容としては「おもしろい超音波セミナー」で、学生のみ対象のランチョンセミナーも考えています。午後は特別講演 2 題、教育セミナー、meet the experts、学会賞講演を予定し、懇親会はクレメントで。コンパクトな学会にしたいので、日曜は朝 7:30 から評議員会を開催し、13 時には一般演題を終わるように考えています。そのあとに四国の評議員会を 30 分くらい予定しますと挨拶された。

4) 役員交代について

各役員の改選については別紙の如く改選された。期間は平成 27 年 9 月 7 日から平成 28 年 9 月 25 日までとする。

5) 名誉会員推戴について

島根産科婦人科学会より小村 明弘先生、香川産科婦人科学会より樋口 和彦先生の計 2 名の推薦があり、承認された。

6)7)8) 「現代産婦人科」の投稿規定に関して

平松理事より、昨今いろいろあり、COI や学生投稿のことなどを考えねばならなくなった。投稿規定の変更案について、下線（波線）で記したのでご協議いただきたい。学生・初期研修医は掲載時に 1000 円を納入するようにしたいが、本人に負担させないようにしていただきたい。CD の返却をしない件。字数についての問い合わせがあるため具体的に記した。個人情報の取扱いや、対象者から同意を得ておくことが望ましい件。インフォームド・コンセントに関する件。利益相反（COI）の件、罰則規定につき追加・変更したとの発言があった。

秦理事より、本誌で使用した図表を他紙で使用する際の、permission request についての記載を追加してはとの発言あり。

平松理事より、投稿規定にも論文の著作権は編集部にあると記載しているため、編集部で許諾するステップを検討したい。他誌を参考して記載を追加いたします。ホームページにアップしますので、投稿に際しては最新の投稿規定をご参照くださいとの発言があった。

9) 「地域基幹分娩取扱病院重点化プロジェクト」

平松理事より、「グランドデザイン 2015」を海野教授が作成され、日産婦でも認められ現

在動している。その中の1つとして「地域基幹分娩取扱病院重点化プロジェクト」がある。各地の周産期センターにたどり着くまで何時間かかるかを、時間別に色分けした地図などができている。

中国地方は平松が、四国地方は苛原先生が担当となっている。今後いろいろとお問い合わせさせていただくが、もしあった場合はご協力いただきたい。

下屋会長より閉会の辞あり，閉会。

以上